たびたびのおはがきときれいなお人形までにありがとうございました。あなたへのお人形を私が横取りしたのではありませんか。とちゃんにお礼を申上げてよろしいのでしょうか。下さった方のお所とお名前をおしらせ願えませんか。きれいなお人形になっていますが、実際にはおしめを代える事までさせられるので、赤坊のおもりはいいことではなかったでしょうが、ほかの農民の苦労が思いやられます。この辺でも赤ん坊を「まびく」のは明治に入っても普通らしかったのです。そして明治以後の過去帳の書かれた様子はゾッとするほどです。戦前きいてみたところ十人生んで半分育たず、六人生んで一人残ったのというのがザラ。それで子供は飢饉のほか江戸へ奉公に出し、労働力の不足

山形から子供をつれてきたそうで、作男、女中その他山形出身の者多く、そういうのが土着して今も残っています。山形県はよく働いて辛抱強いということで。この辺大正六、七年までは一般に白米はたべず、麦、特に粟アワを九割、白米は一割ぐらいいっしょに入れただけのめし、年季で盆暮にお仕着せをもらい、小遣いもろくにもらわずにいたのですからふしぎなようですね。いま「幕末の水戸藩」の生活を書いています。六月頃[illegible]て頂きます。お人形大事にとっておきます。ほんとにありがとうございました

さようなら

山川菊栄

石井はな様

〒251
神奈川県藤沢市みろく寺六〇四
山川菊栄
電話〇四六六-二三-二六九

鳩居堂製